第 3 週一神・人の生活をする(1) 新しい復興のために、弟子に構成されて神・人の生活をし、今日の勝利者となる

鳥瞰	神の必要は、団体の人が、神聖な啓示の高嶺を通して、彼の恵みによって起こされて、この啓示にしたがった生活をすることです。キリストの弟子たちが弟子に構成されたのは、キリストが人性の中でご自身を否むことによって神を生きることを通してでした。わたしたちの生活は、最初の神・人であるキリストの生活のモデルのコピー、複製であるべきです。 唯一の道は、ミングリングされた霊にしたがって歩き、生き、存在することです。神・人の生活をするための積極的面においては、忠信になって神を食物として神の家族の人たちに与えて、わたしたちが来たるべき王国においてキリストをわたしたちの褒賞として勝ち取るようにしなければなりません。消極的な面においては、仲間を打ちたたいたりせず、この世的な事柄に酔いしれた人々と交遊をもたないことです。	
	真理要点	経験適用
1日	1 このように高く深く、深遠な啓示のために主はどのようなモデルを必要とされましたか？ 2 団体のモデル、神・人の生活とは何でしょうか？	1 彼の必要は、団体の人が神聖な啓示の高嶺を通して、彼の恵みによって起こされて、この啓示にしたがった生活をすることです。わたしたち自身が主を呼び求めること、主の言葉を祈り読みすること、絶え間のない祈り、の霊を消さず、どんな預言も軽んじないことを実行する必要があります。まずわたしたちがモデルとなるなら、あなたの召会の聖徒たちに影響を与えるでしょう 2 それは、キリストの復活の力を認識することによって、彼がされたように、毎日、彼の十字架を取り、十字架につけられ、彼の死に同形化され、もう一人の方の命を生きることによります。わたしたちの命、自己、肉、天然の人、わたしたちのすべては、すでに彼によって十字架にもたら されました。生活のあらゆる部分で彼の十字架にとどまって、瞬間ごとに、彼の死の原型 に同形化されるべきです。それは自然に、復活としての彼を生きるようにさせます。
2日	1 神が人を造られた後に、息を吹き込まれたのと、主が復活の後にご自身を息吹き込まれたのとは何が違いますか？ 2 キリスに従う者たちがが、どのようにして主の弟子と構成されますか？	1 創世記第 2 章で神は、土のちりで人を形づくり、人の中に命の息を吹き込まれました。これは人を生きた者、すなわち、生きたパースンとならせました。復活の日、キリストはご自身を彼の弟 子たちの中へと息を吹き込み、彼らも生きた者となりました。弟子たちの中へと吹き込まれた命と実際の霊は、彼らを導いて、彼らが三年半の間、主と共にいた時に主について観察したことのすべての実際の中へともたらしました。 2 キリストに従う者たちが弟子に構成されたのは、神・人のモデルとしてのキリストの地上での人の生活を通して、すなわち人性の中でご自身を否むことによって神を生きることを通してでした。これが人に関する彼らの観念を根本的に変えました。弟子たちは、主イエスが人性の中でご自身を否むことによって神を生きたことを見ることによって、彼ら の観念が根本的に変えられました。
3日	1 主がマタイ14:19 で五つのパンと二匹の魚をもって祝福するとき天を見上げられた霊的な意味は何ですか？ 2 主がヨハネ14:30 で、「この世の支配者は、わたしの中では何ももたない」と言われましたが、この意味を説明してください。	1「天を見上げて」は、彼が天の御父を見上げていたことを示しています。これは、祝福の源がご自身ではないことを、彼が認識していたことを示しています。彼は遣わされた方でした。遣わされた方は、祝福の源であるべきではありません。遣わす方、御父が、祝福の源であるべきです。 彼が行なわれたことは、弟子たちが彼から学ぶべき模範でした。わたしたちはどれほど行なうことができても、源から、遣わす方からの祝福をなおも必要とすること、わたしたち は益を得る人たちに手渡すことができることを認識すべきです。 2 主イエスの中ではこの世の支配者であるサタンが何 の立場も、何の機会も、何の望みも、どんな事における何の可能 性も持っていなかったことを意味します。わたしたちは照らされる なら、サタンがわたしたちの中であまりにも多くのものを持っていることに同意するでしょう。彼は立場、機会、望み、多くの事における可能性を持っています。しかし、ここに神と一であり、サタンが彼の中では何も持たない人がいます。
4日	1 マタイ 24:45～51 での、奴隷が忠信で思慮深くあること、時に応じて食物を与えることについて説明して下さい。 2 人を養うために、わたしたちはどのように神の言葉を祈り、思い巡らしますか？	1 忠信であることは主に対してであり、思慮深くあることは信者たちに対してです。目を覚ましているのは、主の臨在の中へと携え上げられるためです。食物を与えると は、召会の中で、神の言葉とキリストを、命の供給として信者たちに供給することです。わたしたちはみな、どのようにして定められた時に主の家族—信者（すなわち召会）に命の供給をするかを学ばなければなりません。 2「思い巡らす」の意味は豊富で、原文では、礼拝すること、自らと会話すること、大声で語ることを暗示します。言葉を思い巡らすとは、注意深く考察することを通してそれを味わい、享受することです。祈り、自らに語ること、主を賛美することも、言葉を思い巡らすことに含まれるでしょう。神の言葉を思い巡らすことは、彼の息としての言葉を享受し、こうして神を注入され、神を吸い込み、霊的な養いを受けることです。
5日	1．マタイ福音書第 24 章 48～51 節にある、邪悪な奴隷の問題とは何ですか？ 2．タラントを用いないことに対する警告をわたしたちはどのように見ることが出来ますか？	1．邪悪な奴隷についての問題は、主が来られることを彼が知らないことではなく、主を待ち望んでいないことです。彼は主の来臨に備える生活をすることを好まないのです。ですから、主は戻って来るとき、彼らを断ち切り、偽善者たちと同じ目に遭わせられます。断ち切るとは切り捨てることを意味します。これは、主の来たるべき栄光において主から分離されることを表徴します。 2．わたしたちは、キリストのからだのすべての肢体に賜物があることを見る必要があります。今日のクリスチャンの最大の問題は、彼らの大部分が自分の賜物を用いないことです。わたしは、今日の真のクリスチャンの九十パーセント以上が自分の賜物を無視しているといいます。これが重大な誤りです。わたしたちの間のすべての聖徒たちは警告うけ、賜物を用いる必要があります。そうでなければそれは損失となります。
6日	1．マタイ福音書第 24 章で言われている、邪悪な奴隷が奴隷仲間を打ちたたくことの意味を説明して下さい。 2．マタイによる福音書第 25 章で言われている、怠惰な奴隷がタラントを地に隠すことは、私たちに何を警告していますか？	1．わたしたちが信者仲間を批判し、反対し、さげすんで虐待するなら、主の目に、それは彼を打ちたたくことです。わわたしたちは容易にこの危険の中へと落ち込む可能性があります。わたしたちは兄弟姉妹を批判することへと落ち込む可能性があります。時には、わたしたちは何人かの聖徒たちに反対したり、彼らをさげすんだりするかもしれません。おそらく、わたしたちは彼らと争いさえするでしょう。これが、わたしたちの奴隷仲間である主の奴隷を打ちたたくことです。 2．恐ろしくなるのは消極的なことです。そうではなく、わたしたちは主の賜物を用いることにおいて積極的で活発であるべきです。立ち去って主のタラントを地に隠すのは、あまりにも消極的です。わたしたちは主の働きにおいて積極的であるべきです。もしわたしたちが自分の賜物を隠すなら、何を行なう必要もありません。主の奉仕のために消極的であって積極的でないとは、わたしたちが自分の賜物を隠し、それを用いないことを意味します。ただ主の賜物を守って失わないようにするだけでは十分ではありません。わたしたちはそれを用いることによって利益を得なければなりません。
まとめ	主は団体のモデルを得ることを渇望されています。弟子に構成された人々の生活が、主が人性の中でご自己を否むことによって、神を生きた地上での生活と同じになるためです。また彼らが忠信で思慮深い奴隷として、時に応じて信者たちに食物を与え、奴隷仲間を打ちたたくことなく、主からの賜物を用いて利益を得る必要があります。最も利益を産み出すのは福音を宣べ伝え、主の羊を養うことです。これはわたしたちが賞与を得るか、栄光の外で歯がみするかに関与します。	